

まちづくり総合支援事業(戸畑駅周辺地区)

受賞機関 北九州市建築都市局区画整理部区画整理課

はじめに

戸畑駅周辺地区は、広域的な交通利便性を背景に、本来、小倉都心、黒崎副都心に次ぐ、北九州市の地域中心核の一つである。

しかしながら、近年の産業構造の転換に伴う社会・経済活動の停滞により、大幅な人口減少・高齢化の進展、地元商業の低迷や企業遊休地の発生、都市施設の老朽化などの課題を抱える地区となっていた。

これらの課題を解決し、戸畑駅周辺地区の活性化を図るため、平成5年度から戸畑駅南口の企業遊休地を活用した土地区画整理事業に着手した。併せて、“戸畑区の地域中心核にふさわしい生活拠点の形成による調和と安らぎのあるまちづくり”を基本コンセプトに、戸畑駅周辺地区にまちづくり総合支援事業(旧街並み・まちづくり総合支援事業)を導入して整備を行った。

地区概要

市町村名：北九州市

地区名：戸畑駅周辺地区

面積：170ha

事業期間：平成7年度～平成14年度

地域の重要課題：中心市街地の活性化

総事業費：4,074百万円

整備内容

都市公園：「戸畑駅南口公園」、「向町公園」、「末広公園」計3箇所

地域生活基盤施設：公開空地(民間施行)

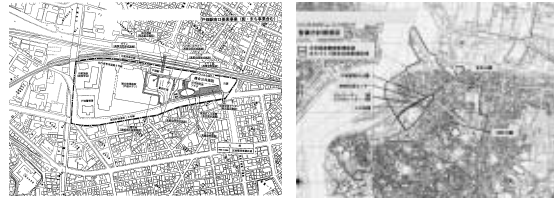
高質空間形成施設：

景観形成施設(バスシェルター・ベンチ・サイン・照明灯)

福祉空間施設(エレベーター・エスカレーター)



JR戸畑駅南口



まちづくり総合支援事業(戸畑駅周辺地区)

高次都市施設：南北公共連絡通路、人工地盤、地域交流センター

事業の特徴

ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業を活用して整備を行った駅前広場に、平成7年度より街並み・まちづくり総合支援事業でバスシェルター、ベンチ、サイン、照明灯を設置した。また、戸畑駅の南北を結ぶために南北公共連絡通路を設け、複合商業施設にあわせ人工地盤を整備し公開空地として配置した。このことにより、駅前広場を中心に潤いとやすらぎのある空間をつくりだすことができ、戸畑駅前には以前のような活気が戻ってきた。

さらに、平成12年度より、まちづくり総合支援事業として、都市公園を整備するとともに、駅前に本市の民間福祉活動の拠点となる複合公共施設(ウェルとばた)内に地域交流センターを配置した。また、周辺地区との人の流れを考慮して複合商業施設、戸畑駅、複合公共施設及び駅前商店街を人工地盤で結び、エレベーターやエスカレーターなどの歩行者支援施設を整備した。これらの整備により「21世紀の高齢化社会に向けた先進的なまちづくりの拠点」として高齢者や身障者にやさしいまちをつくることのできた。

おわりに

まちづくり総合支援事業を導入することにより、都市公園、高次都市施設、地域生活基盤施設及び高質空間形成施設といった多彩な要素事業を短期間に効率よく整備することが可能となった。また、地域の創意工夫を活かした“まちづくり”が実施され、産業構造の転換に大きく影響を受けた戸畑駅周辺地区が、特色のある多世代共生のまちへと生まれ変わることができた。

受賞賛助会員 鹿島建設(株)北九州営業所